

おどんたちが上天草・ 未来づくり計画

(みんなの上天草・未来づくり計画)

～上天草市第2次総合計画～

概要版

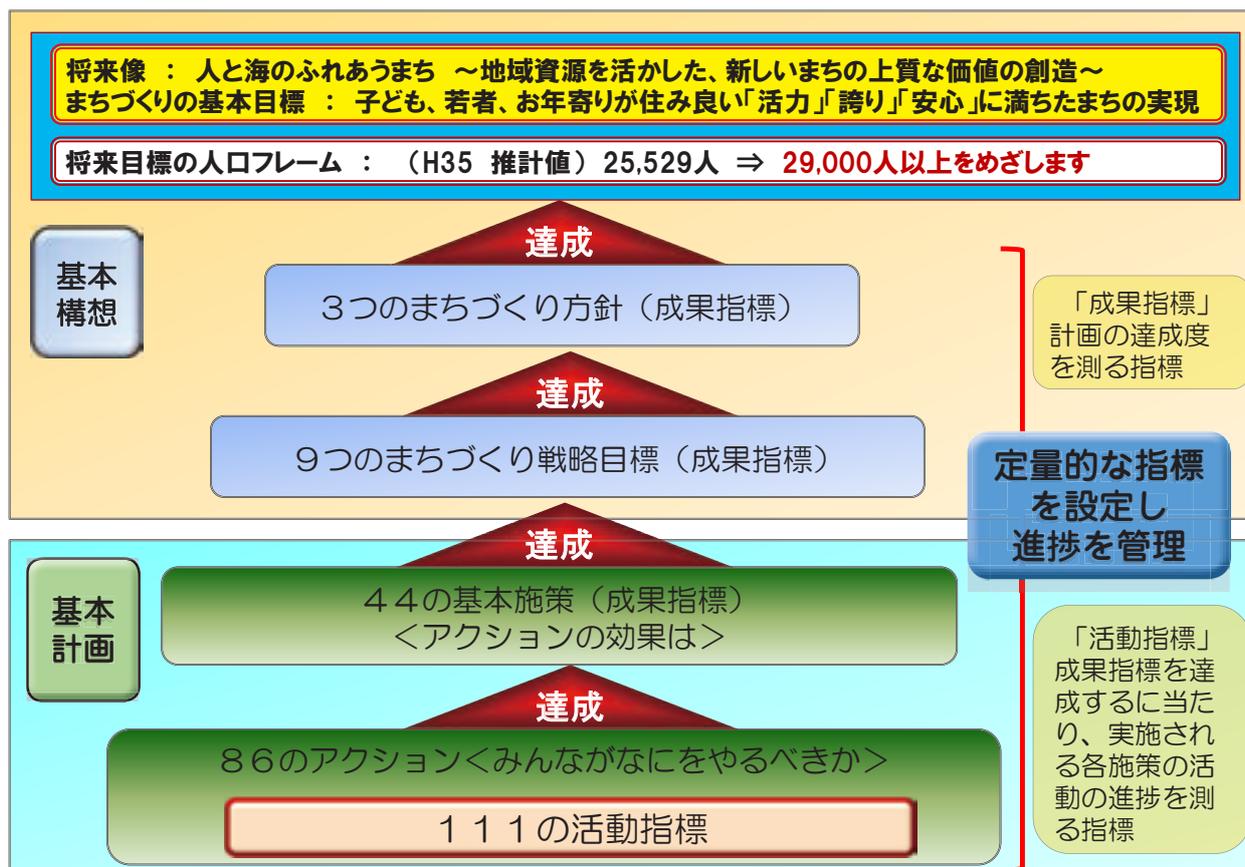


上天草市では、平成 16 年度に策定した「上天草市総合計画」が平成 25 年度末に計画終期を迎えるため、次の 10 年間を見据えたまちづくりの最上位計画となる「上天草市第2次総合計画（以下「第2次総合計画」という。）」を策定いたしました。

第2次総合計画は、市のめざすまちの将来像や目標を定め、将来像を実現していくために必要な戦略と施策大綱を示す「基本構想（計画期間：平成26年度～平成35年度 10年間）」と、基本構想で示した施策大綱に基づく具体的な施策を分野別に体系化し示す「基本計画（計画期間：前期5年間 平成26年度～平成30年度、後期5年間 平成31年度～平成35年度）」で構成されます。

第2次総合計画では目標指標によるまちづくりの達成状況を管理

第2次総合計画は、将来像の実現に向けた実効性のある計画をめざし、目標を数値化した指標（成果指標・活動指標）を設定し、達成状況を進捗管理できるようにしました。



第2次総合計画の特徴

第2次総合計画は以下の役割をもった計画です。

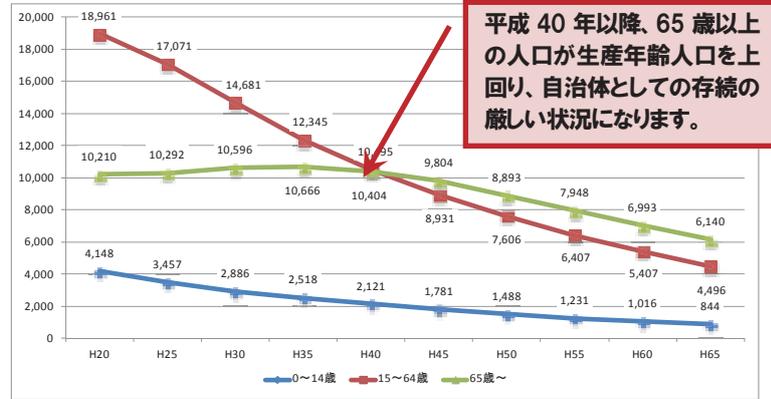
- 将来、まちが発展していくために必要な方向を示す羅針盤となる計画
- 将来の目標に向けて市民と行政がともにめざす協働の指針となる計画
- まちづくりの達成状況を確認するものさしとなる計画
- 財政の健全化を推進する計画

みんなで解決すべき上天草市の課題

最重点課題：定住人口の安定化

将来の人口推計では、本市人口は今後 10 年間で約 5,000 人の人口減少が予測され、長期的には 15 歳～65 歳の生産年齢人口が 65 歳以上の人口を下回る人口構造となり、地域社会を持続することが厳しい状況に直面することが危惧されます。今後、地域社会を持続させていくためには、課題となっている生産年齢人口を維持・確保していくことが必要となっています。

【人口 3 区分から見た将来人口の推計】



これからの上天草市のめざすまちづくり

今後、地域社会を持続させていくためには、課題となっている生産年齢人口を維持・確保していくことが必要であり、そのためには、市内の経済活力を高め、産業を活性化することにより、生産年齢人口に対する雇用の機会を増やすことが必要となります。本計画のめざす将来目標となる人口フレームについては、経済効果を高め、雇用拡大による人口減少の抑制を最優先とし、合わせて全ての施策の実施による相乗効果によって定住人口の増加をめざします。

将来像

人と海のふれあうまち ～地域資源を活かした、新しいまちの上質な価値の創造～

第2次総合計画における「まちの将来像」においては、「上天草市総合計画」で、これまで築いてきた「人と海のふれあうまち」を継承し、「海」と「人材・資源」を活かした自立・交流型の地域社会を進めるとともに、今までにない、新しいまちの価値の創造に向けて、様々な地域資源の可能性を十分に発揮した、質の高いまちづくりをめざします。

まちづくりの基本目標

子ども、若者、お年寄りが住み良い「活力」「誇り」「安心」に満ちたまちの実現

本市の将来のまちづくりを考える上で、急速に進む人口減少・高齢化は最も憂慮すべき課題であり、自立可能・持続可能な地域社会をつくるために、安定した人口（構造）を維持することを最重点に取り組むテーマとして、「活力」「誇り」「安心」を充実させることにより、市民が住み続けたい、新たな住民として住みたいまちの実現をめざします。

将来目標の人口フレーム

平成 35 年推計値 25,529 人 ⇒ 29,000 人 以上をめざします

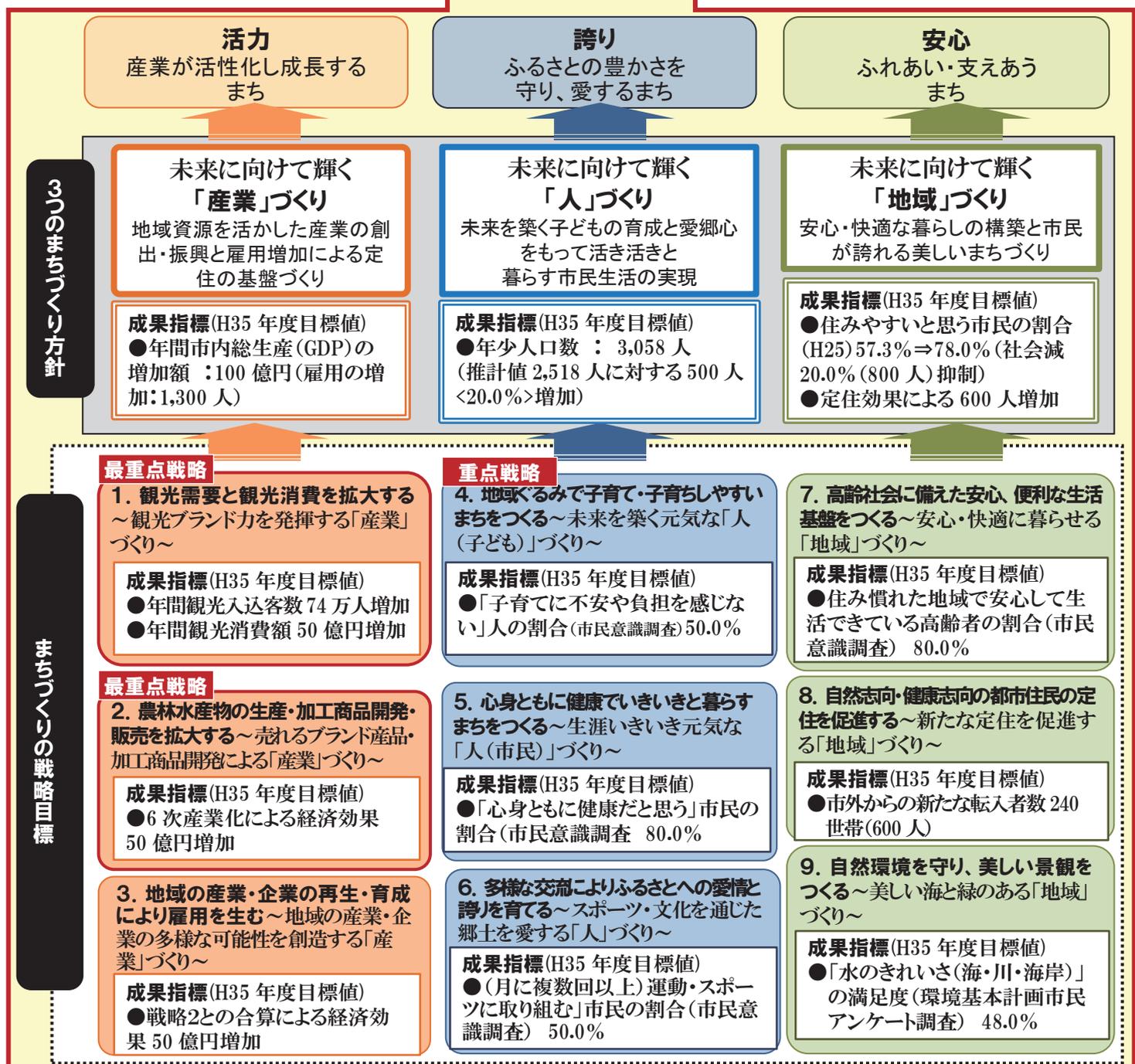
将来像、まちづくりの基本目標の実現に向けた戦略シナリオ

本市の将来像及びまちづくりの基本目標を実現するために、「活力」「誇り」「安心」の3つの基本目標のテーマを軸に次のようなまちづくりの戦略シナリオを設定します。

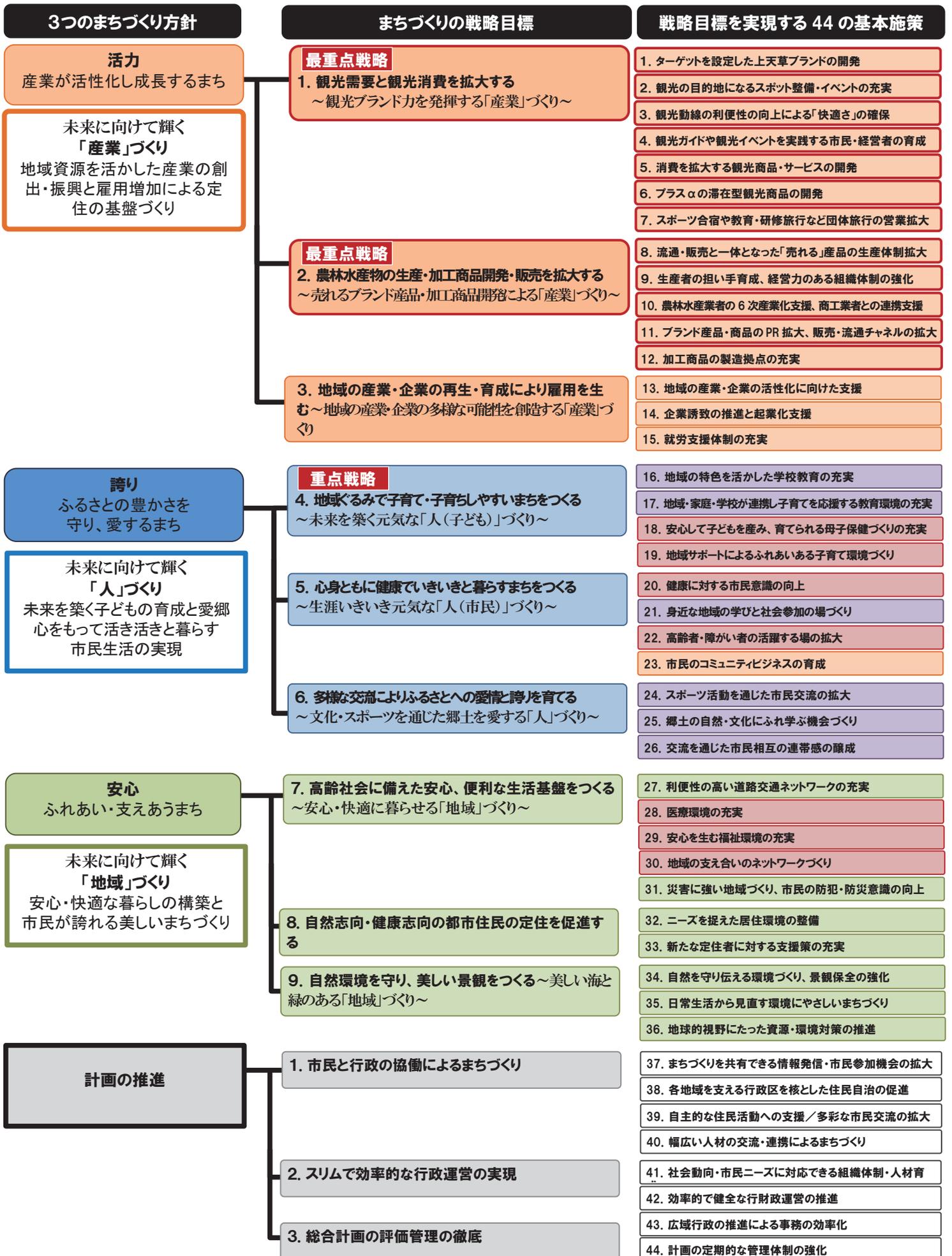
特に将来目標の人口フレームである平成35年29,000人以上を実現するために、各戦略目標に求められる目的を明確に示し、目的達成に必要な定量的な目標指標を設定し、各施策の目標を達成するために何を、どこまで実施すべきか、わかりやすく示していきます。

将来像：人と海のふれあうまち ～地域資源を活かした、新しいまちの上質な価値の創造～
まちづくりの基本目標：子ども、若者、お年寄りが住み良い「活力」「誇り」「安心」に満ちたまちの実現

将来目標の人口フレーム：（H35 推計値）25,529人 ⇒ 29,000人以上をめざします



第2次総合計画前期基本計画【基本計画体系表：分野別（基本戦略）施策体系】



最重点戦略

戦略目標 1 : **観光需要と観光消費を拡大する**
 ～観光ブランド力を発揮する「産業」づくり～



成果指標(H35 年度目標値) ●年間観光入込客数 **74 万人増加**
 ●年間観光消費額 **50 億円増加**

戦略目標を実現する基本施策

① 訪れたいくなる「上天草ブランド」の魅力の強化と発信

施策 1. ターゲットを設定した上天草ブランドの開発

女性をメインターゲットとした「上天草の女子旅」をコンセプトに「食」「景観」「温泉（健康・美）」等をテーマとしてオンリーワンとなる上質な観光ブランドを開発し、上天草ブランドを幅広く訴求します。

成果指標(H35 年度目標値)
 ●女子旅等ブランドPRイベント、キャンペーン実施による集客効果 **20万人**

施策 2. 観光の目的地になるスポット整備・イベントの充実

前島、宮津地区を中心に、観光地として「行きたいくなる」魅力あるスポットの整備、イベントを開催し、集客の拡大を図ります。

成果指標(H35 年度目標値)
 ●観光スポット整備、観光イベント開催による集客効果 **30万人**

施策 3. 観光動線の利便性の向上による「快適さ」の確保

観光客の市内観光エリアへのアクセス及び上天草各地への周遊環境を向上させていくために、必要な観光導線の確保を図り、また、マイカーだけに頼らない交通手段の活用により交通渋滞等の課題を解消し、観光地としての快適性を確保することで通年型観光を推進します。

成果指標(H35 年度目標値) ●広域観光ルート開発による集客効果 **4万人**

施策 4. 観光ガイドや観光イベントを実践する市民・経営者の育成

交流イベント等の観光事業を実践する担い手となる市民、観光産業を担う経営者を育成します。

成果指標(H35 年度目標値) ●観光ガイドの参加者(登録)数 **300人**
 ●上天草・観光大学(仮称)への年間参加事業者数 **100人(事業者)**

② 消費を拡大する観光商品・サービスの開発

施策 5. 消費を拡大する観光商品・サービスの開発

観光客の消費意欲を高める商品・サービスの販売機会を拡充させることで観光入込数を拡大します。

成果指標(H35 年度目標値) ●物販拠点・物販イベントによる集客効果 **5万人**

施策 6. プラスαの滞在型観光商品の開発

滞在型観光の推進による宿泊需要の拡大をめざし、ヘルスツーリズムやアウトドアスポーツ等の体験型観光や広域連携による観光プログラムの充実を図ります。

成果指標(H35 年度目標値) ●イベント・ツアー等の実施による集客効果 **5万人**

施策 7. スポーツ合宿や教育・研修旅行など団体旅行の営業拡大

スポーツ合宿や教育機関、企業等の研修旅行や福利厚生事業等の団体旅行を誘致する滞在型観光のメニューを開発し営業活動を強化します。

成果指標(H35 年度目標値)
 ●スポーツ合宿、教育・研修旅行誘致による集客効果 **10万人**

最重点戦略

戦略目標 2 : **農林水産物の生産・加工商品開発・販売を拡大する**
 ～売れるブランド産品・加工商品開発による「産業」づくり～



成果指標(H35 年度目標値) ●6次産業化による経済効果 **50 億円増加**

未来に向けて輝く「産業」づくり

戦略目標を実現する基本施策

① 農林水産業の生産基盤の強化

施策 8. 流通・販売と一体となった「売れる」製品の生産体制拡大

観光需要の拡大にあわせて市内販売拠点の強化、販売・流通チャネルの開拓と連動させ、安定した生産から流通・販売のラインを構築することで、農林水産業の生産体制の強化を図ります。

成果指標(H35年度目標値) ●1次産業生産額 **58億円**

施策 9. 生産者の担い手育成、経営力のある組織体制の強化

「売れる」製品の生産体制を強化するため、新規就業者の育成、営農組織等による集団経営、併せて担い手への農地の集約化等を図り、安定した生産・販売の可能な体制を構築します。

成果指標(H35年度目標値) ●農業者数 **1,738人** 漁業者数 **1,302人**

② 市場や観光ニーズを捉えた売れる製品・加工商品の開発と販路拡大

施策 10. 農林水産業者の6次産業化支援、商工業者との連携

農林水産業者の1次産品を活用した商品開発を支援するとともに、食品製造業者等とのマッチング機会の充実を図るなど、生産者と加工業者との連携支援による商品化を広げていきます。また、商品開発にあたっては、熊本県水産研究センター、上天草市農林水産物加工品開発研究センターなどの活用を促進し、幅広い開発支援を行います。

成果指標(H35年度目標値) ●加工商品開発に伴う経済効果(売上額) **4億円**

施策 11. ブランド製品・商品のPR拡大、販売・流通チャネルの拡大

1次産品、加工商品のブランド認証により、上天草のオリジナルブランドの開発とPRを積極的に展開します。また、販売促進を図るため、市外の大消費地等の流通業者・バイヤー等と地元業者との商談会の開催、物産展等のPR活動を拡大するほか、海外輸出に向けた販路開拓、海外向けブランド製品の開発を進めます。

成果指標(H35年度目標値)

●ブランド製品販売促進による経済効果(売上額) **4億6千万円**

施策 12. 加工商品の製造拠点の充実

販売拡大にあわせて市内における加工商品の製造規模を拡大させていくため、製造拠点の整備、食品加工業等の企業誘致を進めます。

成果指標(H35年度目標値) ●製造拠点・企業誘致による経済効果(売上額) **18億円**

戦略目標3 : 地域の産業・企業の再生・育成により雇用を生む ～地域の産業・企業の多様な可能性を創造する「産業」づくり～



成果指標(H35年度目標値) ●6次産業化による経済効果 **50億円増加**
(戦略2との合算による経済効果)

戦略目標を実現する基本施策

施策 13. 地域の産業・企業の活性化に向けた支援

地域の雇用を支えてきた商工業、林業、海運業等の既存事業者の経営支援、新たな活性化に向けた事業開拓等の支援を進めます。

成果指標(H35年度目標値) ●製造品出荷額 **8千万円増加**

●小売業年間販売額 **6千万円増加**

施策 14. 企業誘致の推進と起業化支援

市外との人的交流による新たな企業誘致を推進するとともに、市民等の新たな起業家の育成支援を行います。

成果指標(H35年度目標値) ●企業誘致・起業化育成による経済効果(売上額) **2億円**

●コミュニティビジネスに参加する市民の数 **80人**

施策 15. 就労支援体制の充実

若年層、女性、高齢者を中心に就労を促進するための職業訓練や相談窓口などの取組みを充実します。

成果指標(H35年度目標値) ●市内中高生の地元就職者数 **60人**

重点戦略

戦略目標4： 地域ぐるみで子育て・子育てしやすいまちをつくる
～未来を築く元気な「人(子ども)」づくり～



成果指標(H35年度目標値) ●「子育てに不安や負担を感じない」人の割合(市民意識調査)(H25)31.5%⇒(H35)50.0%<20.0%増加>

戦略目標を実現する基本施策

施策15. 地域の特色を活かした学校教育の充実

子どもたちの豊かなこころ、確かな学力、健康で安全な生活のできる資質や能力を育成することにより「生きる力」(知・徳・体のバランスのとれた力)を育てるため、地域の特色を生かした質の高い学校教育を推進するとともに、教育環境の整備・充実を図ります。

また、上天草高校のポテンシャルを高め、進学率を向上させるため、情報発信の強化、小中高の連携強化、国公立大学等への進学率の向上、専門学科を活かした知識・技術の習得、スポーツ活動(部活動)に力点を置いた高校のブランドづくりを進めます。

成果指標(H35年度目標値)

- 小学校標準各力検査における学力偏差値 56.7
- 中学校標準各力検査における学力偏差値 53.4
- 小学校体力テストのABC割合平均値 83.4%
- 中学校体力テストのABC割合平均値 86.8%
- 地元中学生の上天草高等学校進学率 50.0%

施策16. 地域・家庭・学校が連携し子育てを応援する教育環境の充実

地域の子どものふれあい・学習の場づくり、学校教育に参加する住民ボランティアの育成、地域行事やボランティア活動への子どもの参加促進等により、地域住民が一緒になり子どもの自らの育ちを支援する教育環境を充実させることで、地域に愛情と誇りをもった子どもを育てていきます。

成果指標(H35年度目標値) ●地域ボランティア参加者数 150人

施策18. 安心して子どもを産み、育てられる母子保健づくりの充実

妊娠、出産、育児にわたって、母親と子どもの健康を確保できるよう、健診・相談支援を充実していきます。

成果指標(H35年度目標値) ●3歳児健診受診率 98.0%

施策19. 地域サポートによるふれあいある子育て環境づくり

安心して子育てができるよう、子どもの健全な成長を地域で見守る拠点づくり、ネットワークづくりを進め、家庭と地域の子育て力の向上に取り組みます。

成果指標(H35年度目標値)

- 子育てに不安感や負担感を感じない割合(市民意識調査) 45.0%

戦略目標5： 心身ともに健康でいきいきと暮らすまちをつくる
～生涯いきいき元気な「人(市民)」づくり～



成果指標(H35年度目標値) ●「心身ともに健康だと思う」市民の割合(市民意識調査)(H25)67.2%⇒(H35)80.0%(13.0%増加)

戦略目標を実現する基本施策

施策20. 健康に対する市民意識の向上

市民の健康に対する意識を高め、健診や運動等を通じた健康増進活動への参加を促進することで、生活習慣病をはじめとした疾病予防、高齢者の介護予防につなげていきます。

成果指標(H35年度目標値)

- 特定健診・がん検診などの住民健診申込率 65.0%

未来に向けて輝く「人」づくり

施策 21. 身近な地域の学びと社会参加の場づくり

公民館や廃校施設等を活用し、各地域の市民が身近な場所で主体的に学習活動や交流活動ができる場を充実させていくとともに、若年層等が社会活動に参加できる多彩な交流の場づくりを進めます。

成果指標(H35 年度目標値)

●公民館等での講座・教室へ年間参加者数 **600 人**

施策 22. 高齢者・障がい者の活躍する場の拡大

高齢者のもつ知識や技術を活かし、生涯学習や学校教育など様々な社会活動への参加を推進する仕組みをつくり、高齢者が地域社会の中で生きがいをもって活躍できる機会を広げていきます。

また、障がい者が自立した生活が送れるよう、就労や社会参加の機会を広げていきます。

成果指標(H35 年度目標値)

●社会貢献活動に参加する高齢者率(60 歳以上の高齢者のシルバー人材センター会員の割合) **1.8%**

●障がい者自立支援法のサービス利用者数 **785 人**

施策 23. 市民のコミュニティビジネスの育成

市民や市民団体などの地域人材を活用したコミュニティビジネスの起業を積極的に支援し、各地域の市民が抱える課題やニーズに対応し、その活動で得た利益を地域社会に還元する仕組みをつくりま

成果指標(H35 年度目標値)

●コミュニティビジネスに参加する市民の数 **80 人**

戦略目標6 : 多様な交流によりふるさとへの愛情と誇りを育てる ～スポーツ・文化を通じた郷土を愛する「人」づくり～



成果指標(H35 年度目標値)

●「(月に複数回以上)運動・スポーツに取り組む」市民の割合(市民意識調査)(H25) 31.3%⇒(H35) **50.0%(19.0%増加)**

戦略目標を実現する基本施策

施策 24. スポーツ活動を通じた市民交流の拡大

市民が幅広くスポーツ活動に参加し、健康増進や市民交流を広げていくため、スポーツ施設の充実、総合型地域スポーツクラブの育成・普及、高齢者や障がい者など、全ての市民がスポーツを楽しむことができるプログラムづくり等を進めます。また、スポーツ合宿の誘致、スポーツイベントの充実により、市外との交流を拡大します。

成果指標(H35 年度目標値)

●スポーツイベントに参加する市民の数 **5,000 人**

施策 25. 郷土の自然・文化にふれ学ぶ機会づくり

市内の文化財や歴史文化の調査研究を進め、地域の歴史・遺産の保存と発信を行うとともに、歴史文化のもつ魅力を活かした観光交流を推進します。

市民が市の豊かな自然や文化にふれ、理解を深める学びの機会を充実させることで、市民の郷土への愛情を育てていきます。また、市民の文化活動への参加を促進し、市民の多様な文化交流を広げていきます。

成果指標(H35 年度目標値)

●「文化に親しむ」市民の割合(市民意識調査) **20.0 %**

施策 26. 交流を通じた市民相互の連帯感の醸成

様々な機会を通じた市民の交流・連携の機会を充実させていくとともに、男女が対等に社会のあらゆる分野の活動に参加し活躍する男女共同参画社会をつくりま

成果指標(H35 年度目標値)

●男女共同参画が進んでいると思う市民の割合(市民意識調査) **50.0 %**

●人権が守られていると思う市民の割合(市民意識調査) **60.0 %**

●市外との交流人口の拡大 **1,000 人**

戦略目標7 : 高齢社会に備えた安心、便利な生活基盤をつくる
 ~安心・快適に暮らせる「地域」づくり~



成果指標(H35年度目標値)

●住み慣れた地域で安心して生活できている高齢者の割合(市民意識調査)
80.0%

戦略目標を実現する基本施策

**施策 27. 利便性の高い道路
交通ネットワークの充実**

市民の日常生活を支える公共交通手段を維持・確保するとともに、幹線道路を中心とした道路環境の整備・充実を計画的に進め、暮らしの利便性の高い基盤づくりを進めます。

成果指標(H35年度目標値)

●公共交通機関の年間利用者数 **256,000 人**

施策 28. 医療環境の充実

上天草総合病院を核に、広域連携を含めた安心できる日常医療・救急医療体制を充実します。

成果指標(H35年度目標値) ●「住みよいまちにしていくために取り組むべき施策」の「医療の充実」の「最優先に取り組むべき」の割合(市民意識調査) **20.0%**

**施策 29. 安心を生む福祉
環境の充実**

高齢者や障がい者が安心して暮らせる福祉環境を維持していくため、十分な在宅福祉サービス・相談等の提供できる施設及び人材を充実させていきます。

成果指標(H35年度目標値) ●要介護認定者率 **21.0%**

**施策 30. 地域の支え合いの
ネットワークづくり**

各行政区等で小地域ネットワークを構築し、高齢者の見守りや災害時の要援護者支援等、福祉から防災まで地域の安全な暮らしを支える環境をつくります。また、高齢社会が進む中、増加する交通弱者に対する日常物資の宅配サービスを展開するなど、市民の暮らしを支える視点からの地場産業の育成を図ります。

成果指標(H35年度目標値) ●小地域ネットワークの設置率 **90.0%**

**施策 31. 災害に強い地域づくり、
市民の防犯・防災意識の向上**

増加する大規模災害に備え、河川改修や災害危険箇所の改善等による災害に強い基盤整備を進めるとともに、市民の防災意識を高め、消防体制を含めた地域の防災対策を充実させていきます。また、増加する消費者トラブル等に対する予防対策、交通安全対策を、市民への啓発・広報活動を通じ推進します。

成果指標(H35年度目標値)

●火災発生件数 **4件**
 ●刑法犯認知件数 **1件**
 ●交通事故発生件数 **60件**

未来に向けて輝く「地域」づくり

戦略目標8： 自然志向・健康志向の都市住民の移住・定住を促進する ～新たな定住を促進する「地域」づくり～



成果指標(H35 年度目標値)

●市外からの新たな転入者数 **240 世帯(600 人)**

戦略目標を実現する基本施策

施策 32. ニーズを捉えた居住環境の整備

既存の市営住宅の維持・管理を図るとともに、産業の活性化による生産年齢者の移住の促進、リタイヤ世代のセカンドライフや二地域居住等の自然志向・健康志向の都市住民のニーズを捉えた居住環境を民間事業者と連携し整備します。

成果指標(H35 年度目標値)

●定住希望者向け住宅への入居者数 **250 世帯**

施策 33. 新たな定住者に対する支援策の充実

上天草市への定住に関心をもつ新たな定住者を積極的に誘致するための支援策として、住宅等の物件情報の提供、空き家等を活用した体験居住の推進等を実施します。また、移住者で構成される「上天草市セカンドライフネットワーク」の活動を充実させ、また「移住相談アドバイザー」の取組みによる移住後のフォローアップを充実させます。

成果指標(H35 年度目標値) ●体験居住への参加者数 **30 人**

戦略目標9： 自然環境を守り、美しい景観をつくる ～美しい海と緑のある「地域」づくり～



成果指標(H35 年度目標値)

●「水のきれいさ(海・川・海岸)」の満足度(環境基本計画市民アンケート調査)(H25) 34.3%⇒**48.0%(14.0%増加)**

戦略目標を実現する基本施策

施策 34. 自然を守り伝える環境づくり、景観保全の強化

市民が自然とふれあいながら、環境保全に対する意識を高め、活動を広げるまちづくりを進めるとともに、観光の魅力でもある美しい景観の保全に対する取組みを強化します。

成果指標(H35 年度目標値)

●環境保全イベントへの年間参加者数 **11,000 人**

施策 35. 日常生活から見直す環境にやさしいまちづくり

市民一人ひとりが日常生活の中で水質浄化、ごみ減量化等を徹底することで、自然環境を保全・改善し、環境にやさしいまちづくりを進めます。

成果指標(H35 年度目標値)

●公共用水域(海域)の水質(COD※環境基準)の達成率 **100.0%**

施策 36. 地球的視野にたった資源・環境対策の推進

自然エネルギーの利用推進などを通じた地球温暖化対策を実施し、地球規模での資源・環境対策への取組みに貢献します。

成果指標(H35 年度目標値)

●市の事務事業に伴うCO2 排出量 **3,825,681kg-CO2**

計画の推進 ～市民と行政の協働によるまちづくり～

第2次総合計画を推進するためには、市民と行政、そして本市に関わる様々な人がともにまちづくりのパートナーである意識をもちながら、地域の課題解決・目標達成に向かって知恵を出し合い、協働によるまちづくりを進めることが必要になります。

本計画では、市民と行政の協働によるまちづくりの基本指針及び施策を定めており、みんなで第2次総合計画にそったまちづくりを進めていきます。

みんなでめざそう！市民と行政の協働によるまちづくり

市民と行政の協働によるまちづくりの基本指針

● まちづくりを共有できる情報発信・市民参加機会の拡大

市民のまちづくりへの関心と参加を促進するため、行政による広報広聴活動を充実させるとともに、まちづくりの課題に対する市民との意見交換の機会を充実します。

● 各地域を支える行政区を核とした住民自治の促進

住民自治の基礎である行政区活動を支援するとともに、各地域の自治活動をリードする地域リーダーの育成を図ります。

● 自主的な住民活動への支援／多彩な市民交流の拡大

多様化する市民ニーズに応えられるまちづくりを進めるため、様々な分野で活動する市民活動団体を支援するとともに、市民同士の交流を広げていきます。

● 幅広い人材の交流・連携によるまちづくり

本市が市外との連携したまちづくりを広げていくため、市内にとどまらず、本市に関わる市外の幅広い人材との交流・連携を活発に展開します。

